

授業科目(ナンバリング)	博物館経営論(CB308)			担当教員	中島 金太郎		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	3年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>テーマ：博物館経営の諸課題について</p> <p>博物館の「経営」とは、会社経営とは異なる意味を持ち合わせている。博物館には、行財政制度、設備・施設、博物館の組織、博物館の職員、博物館評価、博物館倫理、連携事業などを包括する概念として「ミュージアム・マネージメント」があり、博物館を運営するうえでの基盤となっている。本授業では、ミュージアム・マネージメントの観点から博物館の「経営」について講義し、基礎的な知識を涵養することを目的とする。</p>							②①
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	博物館の管理（人事、施設、資料）などについて、専門的な知識を得ることができる。				定期試験	45%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	博物館の普及事業とサービスに関心を懐き、文化普及事業として積極的に取り組むことができる。				アンケート 確認テスト	20% 35%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>評価は、定期試験 45%、アンケートの回答 20%、毎回ポートフォリオで実施する確認テストへの回答 35%の配分で行う。</p> <p>定期試験は穴埋め・論述併用式試験により行い、講義内容を十分に理解できているかを評価基準とする。</p> <p>第1回授業時にアンケートを実施する。</p> <p>確認テストのフィードバックは、随時授業内で行う。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>パワーポイントを使用した講義を中心とする。ミュージアム・マネージメントの基礎を体系的に講義する。</p> <p>また、毎回簡単な確認テストをポートフォリオで行い、学生証のタッチと確認テストの回答の両方で出席確認を行う。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は180分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書： 特に指定なし</p> <p>参考書： 第1回講義内で紹介する</p> <p>指定図書： 大堀哲，水嶋英治編著 2012『博物館学 3 (博物館情報・メディア論*博物館経営論)』学文社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>博物館学芸員課程の必修科目であり、博物館概論や博物館展示論、博物館資料保存論などの内容を踏まえて受講してほしい。</p> <p>また、授業中の私語や指示の無いスマホの使用、理由のない遅刻・途中退出は認めない。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	ガイダンス 博物館経営の概要	本講義の進め方および参考書を紹介。 その後、博物館経営およびミュージアム・マネージメントの概念を解説する。 ※アンケート実施	予：博物館を見学し、広報の方法などを把握する。
2	博物館の行財政制度、財務	博物館行政、登録制度、および財務に関する諸制度や取り組みについて解説する。	予：第1回講義にて例示した参考書を読んでおく。
3	博物館の施設・設備	博物館の施設・設備の運営、および博物館疲労について解説する。	予：第1回講義にて例示した参考書を読んでおく。
4	博物館の組織・職員Ⅰ	博物館の運営組織、および博物館を支える職員として、館長、事務職員、その他の職員について解説する。	予：博物館のWEBサイトや年報から博物館の運営組織について調べること。
5	博物館の組織・職員Ⅱ	学芸員および学芸員養成について解説する。	予：学芸員論や博物館職員論を事前に読んでおくこと。
6	博物館の経営形態	公立、私立、独立行政法人など、博物館の経営形態を種類別に解説する。	予：指定管理者制度について調べておくこと。
7	博物館の危機管理	博物館が抱える様々なリスクへの予防法について解説する。	予：博物館資料保存論の内容を見直す。
8	博物館の使命と計画、評価	博物館評価に着目し、その運用状況について解説する。	予：博物館の使命について博物館概論の内容を見直す。
9	博物館倫理	博物館の倫理規定について、ICOMの職業倫理規定や日本博物館協会の指針等を中心に解説する。	予：ICOMの職業倫理規定を読んでおく。(文部科学省のサイトよりダウンロード可)
10	博物館の集客と広報	博物館における集客概念を説明し、その手段である広報およびミュージアムショップ等の意義について解説する。	予：博物館を見学し、広報の方法やミュージアムショップの在り方を把握すること。
11	市民参画	友の会やボランティアなどの支援組織について解説する。	予：友の会やボランティアなどの支援組織について予習すること。
12	博物館ネットワーク（他館との連携）と他機関との連携（MLAほか）	博物館対博物館の連携および図書館、文書館、大学など博物館以外の組織との連携について解説する。	予：MLA連携について予習すること。
13	博物館のアクセシビリティ	観覧者がアクセスしやすい博物館にするための様々な取り組みについて解説する。	予：バリアフリー、ユニバーサルデザインについて予習すること。
14	地域社会と博物館Ⅰ	地域の活性化に果たす博物館の役割について解説する。	予：地域活性化と博物館に関する書籍を読んでおく。
15	地域社会と博物館Ⅱ	観光と博物館の関係について解説する。	予：観光と博物館に関する書籍を読んでおく。
16	定期試験	筆記試験を実施する。 授業で取り扱った内容より出題する。	予：授業内容を再確認し、試験の準備を行う。